



チーム玉幡



第9号

R7年7月15日

文責 堀内 貴司

1学期の終了 御協力ありがとうございました



1学期の終業式は来週22日(火)です。1学期も残すところ、あと1週間になりました。1学期の授業日数は、2年生から5年生は71日、1年生と6年生は入学式があったので、72日でした。4月からのお子さんの成長を振り返ってみてください。きっと、分かるようになったことや出来るようになったことなど、たくさんの成長を感じることができることと思います。もしかしたら、もう少し頑張っしてほしいことも見つかるかもしれません。終業式の日、あゆみ(通信表)をお渡ししますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

さて、23日(水)から37日間の長い夏休みが始まります。夏休みには、海に行ったり、山に行ったり、キャンプをしたり、お祭りに行ったり…と、夏休みでなければできないことがたくさんあります。また、じっくり何かに取り組むことができるチャンスでもあります。夏休みは、子どもたちは家庭での生活が中心になります。親子で過ごす時間を大切にいただき、子どもたちにとって、保護者の皆様にとって、有意義な夏休みになることを願っています。

【週間 教育資料 No.1796】の藤木美智代さんのコラムより抜粋



子どもたちにお手伝いをさせてください。お手伝いをすることが、家族のためになっているという「自己有用感」「自己存在感」になります。褒めるよりも、感謝を伝えるといいのだそうです。褒められるために手伝うのではなく、感謝されるために手伝うということが大切なのです。何か御褒美をもらうため、というのはもっての外、ぜひ子どもたちが「家族っていいな、家族の一員でうれしいな。」と感じる体験をさせてください。

藪下遊さん・高坂康雅さんが2024年に書いた『「叱らない」が子どもを苦しめる』(筑摩書房)という本からです。昨今、褒めて育てることが有効だという考え方が広がっていますが、それを「叱らない。」「叱ってはいけない。」というふうに関連して解釈してしまう方がいると指摘しています。「駄目なことは駄目」という時に叱れないと、社会に出てから「世界からの押し返し」(決まりやルール、義務や責任)によってつぶされていくという話です。簡単に言うと、小さいうちにわがままを通していたら、大きくなって苦しみますよ、ということです。世の中には思い通りにならないことがむしろ多いので、それを受け入れられる「しなやかさ」と、へこたれない「強さ」をもってほしいと思います。「しなやかさ」と「強さ」を身に付けた子は、自分の思いや考えをひろげ、社会という共同体で活躍できる人材に育っていきます。

1学期の活動から



1年生 あさがおのお世話

間引き・支柱たて・毎朝の水やり



3年生 校区探検・オギノ見学

オギノでは、普段は見るできないバックヤードを見学



2年生 セミナーハウス見学

施設の中の様子や地域の方の活動の様子を見学



習字指導

6年生、5年生
4年生が、西八幡の
細田華流 先生(龍子会)に指導していただきました。



クラブ活動 学期に1回実施

「4～6年生の異学年集団の交流を深めよう！！」

<11のクラブ>

サッカー・外遊び・読書・手芸・イラスト・実験・
3on3バスケ・カードゲーム・将棋オセロ・
かんたん工作・かんたんプログラミング



歯みがき指導

養護教諭が1年生に
指導しました。



全校児童で草取り

たてわり班ごと、分担場所を決めて頑張りました。



七夕飾り

1年生、2年生の廊下にあります。



行間体育

体育委員の児童のリードのもと、全校児童みんなでラジオ体操と「岩と枝」という体づくり運動をしました。